

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	小学校耐震補強事業				コード	01	10	02	01	04	
2	担当部課	教育部				学校教育課						
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり		大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育		小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	小学校の児童、教諭及び施設利用者															
2	働きかける相手(対象)	旧建築基準で建設された校舎及び体育館															
3	どのような状態にしたいのか(意図)	建物の耐震性を確保し、地震防災対策の促進を図ります。															
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	小学校耐震補強事業														
		工事期間	平成 10 年度～平成 22 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度					
		全体工事概要	H10音小北, H14高小南, H15春小体育館, H16諸小北, H17春小南, H18諸小南, H20東小東西, H22音小体育館, 高小体育館, 諸小体育館														
		評価年度の実施内容	東郷小学校東校舎、西校舎の耐震改修工事を行いました。校舎面積 3,099㎡														
		予定全体事業量 [A]	24,077.00 ㎡														
		評価年度までの事業量 [Σ a]	21,374.00 ㎡														
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	88.8 %									%	%				
		予定全体直接事業費 [B]	891,101,338 円									円	円				
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	815,602,300 円									円	円				
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	91.5 %									%	%				
		評価年度の事業量 [a]	3,099.00 ㎡														
評価年度の直接事業費 [b]	81,659,550 円									円	円						
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	26,350 円									円	円						
5	直接事業費計	前年度決算額				8,557,500 円				決算額				81,659,550 円			

6 コストの推移	項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
	直接事業費① (②+③+④)	8,557,500	81,659,550	11,291,000
	一般財源②	8,557,500	95,550	11,291,000
	起 債 ③	0	42,400,000	0
	そ の 他 ④	0	39,164,000	0
	概 算 人 件 費 ⑤	1,706,747	1,712,358	
	総 合 計 (① + ⑤)	10,264,247	83,371,908	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	10,264,247	44,207,908	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	小学校耐震補強事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	東海地震及び東南海地震において、マグニチュード7.0程度の規模の地震が発生し甚大な被害が予想されるので、地震防災上緊急に整備をする必要があります。		
3 建設事業評価コメント	東海地震強化地域に指定され、学校施設が避難所の指定を受けているので、校舎・体育館の地震補強対策が必要です。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	学校施設の耐震化の早期完了を目指します。
------------------	----------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	兵庫小学校建設事業				コード	01	10	02	01	99
2	担当部課	教育部				学校教育課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	新設小学校学区の児童									
2	働きかける相手(対象)	SPC (PFI契約会社)									
3	どのような状態にしたいのか(意図)	小学校校舎、体育館、プール、児童館他を建設します。									
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	新設小学校施設整備事業								
		工事期間	平成 16 年度～平成 33 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	SPCが小学校校舎、体育館、プール、児童館等を建設しました。								
		評価年度の実施内容	校舎9,271㎡、屋内運動場1,143㎡、屋外水泳プール、児童館463㎡の購入								
		予定全体事業量 [A]	10,877.00 ㎡								
		評価年度までの事業量 [Σ a]	10,877.00 ㎡								
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %								
		予定全体直接事業費 [B]	2,425,887,286 円								
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	1,468,460,885 円								
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	60.5 %								
評価年度の事業量 [a]	0.00 ㎡										
評価年度の直接事業費 [b]	73,187,697 円										
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円										
5	直接事業費計	前年度決算額	73,129,188 円				決算額	73,187,697 円			

6 コストの推移	項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
	直接事業費① (②+③+④)	73,129,188	73,187,697	73,248,000
	一般財源②	73,129,188	73,187,697	73,248,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概 算 人 件 費 ⑤	1,980,082	180,970	
	総 合 計 (① + ⑤)	75,109,270	73,368,667	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	75,109,270	73,368,667	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	新設小学校施設整備事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	中学校耐震補強事業				コード	01	10	03	01	04
2	担当部課	教育部				学校教育課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	中学校の生徒、教諭及び施設利用者									
2	働きかける相手(対象)	旧建築基準で建設された校舎及び体育館									
3	どのような状態にしたいのか(意図)	建物の耐震性を確保し、地震防災対策の促進を図ります。									
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	中学校耐震補強事業								
		工事期間	平成 13 年度～平成 21 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	H13東郷中学校南校舎、H19東郷中学校北校舎、H21東郷中学校体育館								
		評価年度の実施内容	東郷中学校屋内運動場の耐震診断、実施設計を行いました。 校舎面積 2,652㎡								
		予定全体事業量 [A]	9,920.00 ㎡								
		評価年度までの事業量 [Σ a]	7,268.00 ㎡								
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	73.3 %								
		予定全体直接事業費 [B]	457,364,250 円								
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	307,445,250 円								
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	67.2 %								
		評価年度の事業量 [a]	0.00 ㎡								
評価年度の直接事業費 [b]	4,200,000 円										
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円										
5	直接事業費計	前年度決算額	27,250,650 円				決算額	4,200,000 円			

6 コストの推移	項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
	直接事業費① (②+③+④)	27,250,650	4,200,000	156,084,000
	一般財源②	8,668,650	4,200,000	25,584,000
	起 債 ③	7,900,000	0	40,500,000
	そ の 他 ④	10,682,000	0	90,000,000
	概 算 人 件 費 ⑤	1,517,699	1,521,112	
	総 合 計 (① + ⑤)	28,768,349	5,721,112	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	18,086,349	5,721,112	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	中学校耐震補強事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	東海地震及び東南海地震において、マグニチュード7.0程度の規模の地震が発生し甚大な被害が予想されるので、地震防災上緊急に整備をする必要があります。		
3 建設事業評価コメント	東海地震強化地域に指定され、学校施設が避難所の指定を受けているので、校舎・体育館の地震補強対策が必要です。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	学校施設の耐震化の早期完了を目指します。
------------------	----------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	中学校新增築事業				コード	01	10	03	01	05
2	担当部課	教育部			学校教育課						
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	中学校の生徒、教諭及び施設利用者										
2	働きかける相手(対象)	過去に建設された校舎										
3	どのような状態にしたいのか(意図)	集団住宅における児童生徒数の増加に伴う必要学級数を確保します。										
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	中学校新增築事業									
		工事期間	平成 20 年度～平成 20 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度			
		全体工事概要	春木中学校北校舎									
		評価年度の実施内容	春木中学校北校舎の増築工事を行いました。 校舎面積 1,063㎡									
		予定全体事業量 [A]	1,063.00									
		評価年度までの事業量 [Σ a]	1,063.00									
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %						%			%
		予定全体直接事業費 [B]	299,631,150 円						円			円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	299,631,150 円						円			円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	100 %						%			%
		評価年度の事業量 [a]	1,063.00									
評価年度の直接事業費 [b]	299,631,150 円						円			円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	281,873 円						円			円		
5	直接事業費計	前年度決算額			0 円	決算額			299,767,150 円			

6 コストの推移	項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
	直接事業費① (②+③+④)	0	299,767,150	0
	一般財源②	0	28,110,150	0
	起 債 ③	0	187,700,000	0
	そ の 他 ④	0	83,957,000	0
	概算人件費⑤	0	1,806,267	
	総合計 (① + ⑤)	0	301,573,417	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	217,616,417	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	中学校新增築事業	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	集団住宅における推定児童生徒数の変動に伴い、予定学級数の増加が見込まれるため、早急に対応する必要があります。	
3 建設事業評価コメント	特にありません。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	都市計画道路整備事業				コード	01	08	02	02	02	
2	担当部課	経済建設部				建設課						
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気あふれるまちづくり		大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備		小項目	2	都市計画道路				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人												
2	働きかける相手(対象)	都市計画道路												
3	どのような状態にしたいのか(意図)	幹線道路の整備を図り、車両交通が円滑になるようにします。												
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東郷・三好線											
		工事期間	平成 16 年度～平成 23 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度					
		全体工事概要	工事延長 L = 250m 用地取得 A = 2,840㎡、 公社買戻し											
		評価年度の実施内容	用地取得(土地開発公社) 566.40㎡ (累計1518.24㎡)											
		予定全体事業量 [A]	250.00m											
		評価年度までの事業量 [Σ a]	130.00m											
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	52%				%			%				
		予定全体直接事業費 [B]	214,989,335 円				円			円				
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	77,149,435 円				円			円				
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	35.9%				%			%				
評価年度の事業量 [a]	0.00m													
評価年度の直接事業費 [b]	26,248,990 円				円			円						
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円				円			円						
5	直接事業費計	前年度決算額				20,612,720 円			決算額			26,248,990 円		

6 コストの推移	項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
	直接事業費① (②+③+④)	20,612,720	26,248,990	
	一般財源②	20,612,720	26,248,990	
	起 債 ③	0	0	
	そ の 他 ④	0	0	
	概算人件費⑤	5,566,738	2,473,722	
	総合計 (① + ⑤)	26,179,458	28,722,712	
	町費投入額(②+③+⑤)	26,179,458	28,722,712	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	東郷・三好線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	三好町区画整理事業の動向次第では工事実施時期の調整が必要です。		
3 建設事業評価コメント	予算面については、関係部局と十分に協議し、円滑な予算執行をします。また、三好町の事業を把握し手戻り等のないように努めます。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	三好町との調整を図り早期の事業着手をします。
------------------	------------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業(単独)				コード	01	08	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	3	生活道路				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人				
2	働きかける相手(対象)	道路				
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行が円滑になるようにします。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	町道涼松7号線外2路線	牛廻間地区		
		工事期間	平成 12 年度～平成 20 年度	平成 13 年度～平成 24 年度	平成 年度～平成 年度	
		全体工事概要	工事延長 L = 329 用地取得 A = 1, 534 m ² 物件補償 公社買収の買戻し	工事延長 L = 981 m 用地取得 A = 1, 614 m ² 物件補償		
		評価年度の実施内容	用地取得 A = 10, 40 m ²			
		予定全体事業量 [A]	329.00 m	981.00 m		
		評価年度までの事業量 [Σ a]	329.00 m	185.00 m		
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %	18.9 %	%	
		予定全体直接事業費 [B]	209,499,535 円	162,990,733 円	円	
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	209,499,535 円	75,425,591 円	円	
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	100 %	46.3 %	%	
評価年度の事業量 [a]	0.00 m	0.00 m				
評価年度の直接事業費 [b]	2,841,244 円	0 円	円			
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円	0 円	円			
5	直接事業費計	前年度決算額	19,870,682 円	決算額	2,841,244 円	

6 コストの推移	項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
	直接事業費① (②+③+④)	19,870,682	2,841,244	0
	一般財源②	19,844,464	2,841,244	0
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	26,218	0	0
	概算人件費⑤	3,976,242	3,092,153	
	総合計 (① + ⑤)	23,846,924	5,933,397	
	町費投入額(②+③+⑤)	23,820,706	5,933,397	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	町道涼松7号線外2路線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	平成20年度にて全体事業が完了しました。		

工事・路線名 (2)	牛廻間地区		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	本格的な事業展開が図れるよう、計画的な事業執行を行います。また、用地難航者に対して事業の理解が得られるよう、関係部局と連携し進めます。		
3 建設事業評価コメント	執行は慎重かつ迅速に、また事業全体を意識し計画的に執行します。		

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	
------------------	--

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業(補助)				コード	01	08	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	3	生活道路				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人												
2	働きかける相手(対象)	道路												
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行が円滑になるようにします。												
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	白土涼松地区											
		工事期間	平成 17 年度～平成 21 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度					
		全体工事概要	工事延長 L = 1, 284.7m											
		評価年度の実施内容	工事施工 L = 106m 用地買収 120,462千円 (1,768㎡) 物件補償 30,700千円 (10件)											
		予定全体事業量 [A]	1,284.70m											
		評価年度までの事業量 [Σ a]	728.00m											
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	56.7%				%			%				
		予定全体直接事業費 [B]	477,360,459 円				円			円				
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	426,663,459 円				円			円				
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	89.4%				%			%				
評価年度の事業量 [a]	106.00m													
評価年度の直接事業費 [b]	178,132,724 円				円			円						
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	1,680,497 円				円			円						
5	直接事業費計	前年度決算額				67,397,945 円			決算額			178,132,724 円		

6 コストの推移	項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
	直接事業費① (②+③+④)	67,397,945	178,132,724	
	一般財源②	10,234,238	38,766,656	
	起 債 ③	28,000,000	89,000,000	
	そ の 他 ④	29,163,707	50,366,068	
	概 算 人 件 費 ⑤	13,254,139	19,436,387	
	総 合 計 (① + ⑤)	80,652,084	197,569,111	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	51,488,377	147,203,043	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	白土涼松地区		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	用地難航者等により、進捗に影響が出始めているため、優先路線の精査をし効率的に事業実施をする必要があります。		
3 建設事業評価コメント	下水道整備等の関連する事業展開に歩調を合わせて、効率的な施工に心掛けます。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	
------------------	--

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	公園緑地築造事業				コード	01	08	04	02	03
2	担当部課	経済建設部				都市計画課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	4	公園整備				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び公園利用者						
2	働きかける相手(対象)	公園施設等						
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公園を設置、整備することにより、町民の生活環境向上の場の提供や災害時の一次避難地としてのスペースが確保されるようにします。						
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	三ツ池公園 (0.20ha)		白土第1公園 (0.10ha)			
		工事期間	平成 20年度～平成 21年度		平成 19年度～平成 21年度		平成 年度～平成 年度	
		全体工事概要	H20: ワークショップ開催 基本計画策定 実施設計作成 H21: 公園築造		H19: 用地購入(土公社) ワークショップ・基本計画策定 H20: 実施設計業務 H21: 公園築造			
		評価年度の実施内容	ワークショップ開催運営(5回) 基本計画策定業務委託 実施設計作成業務委託		実施設計作成業務委託 用地取得に係る償還金利息分 支払い(尾張土公社)			
		予定全体事業量 [A]	4.00事業		4.00事業			
		評価年度までの事業量 [Σ a]	3.00事業		3.00事業			
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	75%		75%		%	
		予定全体直接事業費 [B]	38,383,500円		92,908,000円		円	
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	2,383,500円		2,896,624円		円	
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	6.2%		3.1%		%	
評価年度の事業量 [a]	3.00事業		1.00事業					
評価年度の直接事業費 [b]	2,383,500円		1,739,853円		円			
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	794,500円		1,739,853円		円			
5	直接事業費計	前年度決算額		39,396,721円		決算額	4,123,353円	

6 コストの推移	項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
	直接事業費① (②+③+④)	39,396,721	4,123,353	124,418,000
	一般財源②	6,361,099	1,589,421	11,618,000
	起 債 ③	16,000,000	1,600,000	92,800,000
	そ の 他 ④	17,035,622	933,932	20,000,000
	概 算 人 件 費 ⑤	3,082,692	3,075,812	
	総 合 計 (① + ⑤)	42,479,413	7,199,165	
町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	25,443,791	6,265,233		

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	三ツ池公園 (0.20ha)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	世代間において公園の利用形態が異なるため、住み分けや利用についてのルールを地域にあわせ地域で整備していくことが必要と思われます。		
3 建設事業評価コメント	ワークショップ形式による基本計画を策定したことにより、地域住民の意見や要望等を考慮・反映した公園の実施設計図書ができました。 また、ワークショップにあつては、参加者の積極的な意見・協力により、地域に配慮した計画を策定することができました。		

工事・路線名 (2)	白土第1公園 (0.10ha)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	世代間において公園の利用形態が異なるため、住み分けや利用についてのルールを地域にあわせ地域で整備していくことが必要と思われます。		
3 建設事業評価コメント	ワークショップ形式による基本計画を策定したことにより、地域住民の意見や要望等を考慮・反映した公園の基本計画及び実施設計図書ができました。		

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	公共下水道建設事業				コード	09	02	02	02	01
2	担当部課	経済建設部			下水道課						
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	7	下水道				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	下水道認可区域内の地権者及び住民											
2	働きかける相手(対象)	下水道認可区域内の受益地											
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公共用水域の水質が改善されることにより、町民生活の環境衛生が向上されるようにします。											
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	建設事業費										
		工事期間	平成 1 年度～平成 25 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度				
		全体工事概要	事業認可取得区域・市街化区域516haの公共下水道の整備										
		評価年度の実施内容	整備面積 31.51ha 整備延長 4.1km 接続件数 607件										
		予定全体事業量 [A]	516.00ha										
		評価年度までの事業量 [Σ a]	453.36ha										
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	87.9%									%	%
		予定全体直接事業費 [B]	17,968,467,000 円									円	円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	13,884,536,559 円									円	円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	77.3%									%	%
評価年度の事業量 [a]	31.51ha												
評価年度の直接事業費 [b]	401,556,316 円									円	円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	12,743,774 円									円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額				450,982,844 円				決算額		401,556,316 円	

6 コストの推移	項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
	直接事業費① (②+③+④)	450,982,844	401,556,316	364,779,000
	一般財源②	65,086,195	84,442,201	96,071,000
	起 債 ③	230,800,000	168,100,000	175,800,000
	そ の 他 ④	155,096,649	149,014,115	92,908,000
	概 算 人 件 費 ⑤	36,809,123	34,309,784	
	総 合 計 (① + ⑤)	487,791,967	435,866,100	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	332,695,318	286,851,985	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	建設事業費	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	牛廻間、押草団地地区の面整備を重点的に実施しており計画通り事業が進捗しています。Ha当たりの整備費については、押草団地を既存の処理場から公共下水道へ切替える工事を施工したため整備面積が増え整備費が減少しました。	
3 建設事業評価コメント	公共用水域の水質改善が急務とされており、DID地区の下水道整備を早急に行う必要があり、下水道事業の工法等を検討しコスト縮減意識を持って、牛廻間・押草団地地区全体の供用開始を平成21年度までに完了するよう整備しました。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	補助事業費の縮減に伴い下水道事業費の確保が困難なため、関係機関と協議しつつ、工法及び施工方法等を検討しコスト縮減を目指します。
------------------	---